

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	0660060	001
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜市多文化交流推進事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	国際課		
実施方法	委託(出資団体)	補助等の種類	-	実施主体	(公財)岐阜市国際交流協会
実施期間	平成22 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市多文化共生推進基本計画	

【2.事業概要】

事業の目的		市民に対し、様々な分野での国際交流の機会を提供し、国際理解の推進を図るとともに、外国人市民の定住化や長期滞在化に伴う多文化共生社会の実現に向けた取り組みを行う。
事業の内容		国際交流及び多文化共生に関する事業
事業 の 対象	何を	国際理解の推進及び多文化共生社会の実現
	誰に	市民
	どのくらい	年間350日（ぎふメディアコスモスの通常開館日数）
令和3年度 (実施内容)		国際交流事業、多文化交流「場所づくり」事業、国際交流・多文化共生に関する展示事業、外国人コミュニティとの協働事業、ボランティア活躍事業、災害への備え、外国人市民向け相談窓口及び資料発行事業、多世代”学び”交流事業の実施等

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	4,420	130	4,225	130	4,199	130
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	4,420	130	4,225	130	4,199	130

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	国際交流推進事業	2,306	1,009	484
	多文化共生推進事業	38,427	36,440	34,760
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		40,733	37,449	35,244

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	45,153	41,674	39,443

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	1,915	1,374	1,607
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	1,915	1,374	1,607

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	43,238	40,300	37,836

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	408,585	407,174	403,683
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	106	99	94

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	国際交流・多文化共生推進事業及び講座開催回数	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	20	20	20
実績値	19	16	24

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	国際交流・多文化共生推進事業及び講座参加人数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	10,665	10,665	10,665
実績値	8,110	1,763	1,990
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	外国人市民の定住化や長期滞在化が進む中、数多くの事業や講座を実施し、外国人市民にとって安心・安全な生活環境をつくり、本市における国際交流・多文化共生社会の推進を図ることに繋がっている。 友好姉妹都市との交流事業及び「岐阜市多文化共生推進基本計画」に基づく各種事業等、広く市民を対象とした多文化交流推進事業を実施するため、市が(公財)岐阜市国際交流協会に事業を委託している。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	国際交流・多文化共生社会の推進を図るために活動する(公財)岐阜市国際交流協会に業務を委託することは、事業実施において効率的である。 (公財)岐阜市国際交流協会が、民間及び市民と行政とのパイプ役を担っており、市民協働で事業を進められている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	みんなの森ぎふメディアコスモス内の「多文化交流プラザ」を中心として、様々な事業を展開することにより、多くの外国人市民や日本人市民が多文化交流の推進を図ることが出来ている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	各種事業は、全市民を対象に多文化交流の推進を図るものであり、受益者負担は適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。))・廃止)	現状維持	(公財)岐阜市国際交流協会と連携し、みんなの森ぎふメディアコスモス内の「多文化交流プラザ」を本市における多文化交流の中核的な場所として各種事業を実施することで、多文化共生と国際交流の推進を図れている。 なお、事業については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら実施の可否を判断する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	0660060	002
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	外国人向け生活情報ホームページ構築				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	国際課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	令和3 年度～ 令和4 年度	根拠法令・関連計画	岐阜市多文化共生推進基本計画		

【2.事業概要】

事業の目的		多様なツールによる情報発信を行い、外国人市民が必要な情報を得られるまちづくりを進める。
事業の内容		本市の公式ホームページ上に、外国人市民が生活する上で必要とする情報を集約したサイトを構築する。
事業 の 対 象	何を	生活するうえで必要となる情報や緊急性の高い情報
	誰に	日本語を母語としない市民
	どのくらい	やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語のホームページを構築
令和3年度 (実施内容)		やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語のホームページを構築

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	-		-		16,796	520
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	-		-		5,356	520
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	-		-		0	
計(A)	-	-	-	-	22,152	1,040

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		-	-	3,465
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料	-	-	3,465
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		-	-	
計(D)=B+C		-	-	3,465

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	-	-	25,617

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			1,700
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	-	-	1,700

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	-	-	23,917

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者			外国人市民
受益者数			8,767
受益者負担額(千円)			0
受益者負担率(%)	－	－	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	－	－	2,728

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	ホームページの構築及び多言語での情報発信	単位	言語
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	－	－	4
実績値	－	－	4

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	外国人市民が本市で暮らすための情報を容易に得られる	単位	—
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	—	—	—
実績値	—	—	—
達成状況	—	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	外国人市民の定住化や長期滞在化が進む中、日本語を母語としない外国人市民が生活するうえで必要な情報を、より正確な多言語で提供する手段を確保し、日本人市民と同様の情報を届ける必要がある。 市の行政情報等生活に必要な情報のため、市で行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	翻訳を職員等で行っているため、外注費用の削減になる。また、内容の更新も職員が行うため即時性があり、効果的である。 翻訳など民間を活用できるが、費用がかかる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	外国人市民の言語別割合において、英語・中国語・タガログ語は約50%を占めるため、正確な情報が届くようになる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	日本語を母語としない市民を対象としたものであり、受益者負担は適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。))・廃止)	現状維持	多くの市民が利用している市のホームページは、自動翻訳サービスによる多言語の情報発信を行っているが、正確性が担保できない。そのため、生活に必要な情報や緊急性の高い情報を正確な多言語で提供することにより、多くの外国人市民が正確な情報を容易に得ることができる。すべての言語での提供は難しいが、5言語とやさしい日本語での提供により、外国人市民の言語別割合のほぼ80%をカバーできるため、令和4年度も引き続き実施する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	0660060	003
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	外国人のための日本語講座事業補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	国際課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	(公財)岐阜市国際交流協会
実施期間	平成17 年度～	年度	根拠法令・関連計画	日本語教育の推進に関する法律、岐阜市補助金等交付規則、岐阜市外国人のための日本語講座補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		外国人等が日本語を習得する機会の確保及び環境の整備
事業の内容		外国人のための日本語講座の実施団体に対し、補助金を交付して当該講座の運営を補助する。
事業 の 対 象	何を	外国人のための日本語講座に対する補助金
	誰に	当該講座を実施する団体
	どのくらい	事業に要する経費の1/3(ただし、上限240千円(年))
令和3年度 (実施内容)		事業補助金(240千円)を交付

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	68	2	65	2	65	2
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	68	2	65	2	65	2

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		240	239	240
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	団体事業補助金	240	239	240
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		240	239	240

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	308	304	305

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	308	304	305

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	外国人市民	外国人市民	外国人市民
受益者数	9,833	9,744	8,767
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	31	31	35

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	講座開講数	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	150	150	150
実績値	150	75	150

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	講座参加者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	40	40	40
実績値	43	18	35
達成状況	○（達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	岐阜市の外国人市民は約8,800人おり、今後も増加が見込まれる状況。外国人市民に正確な情報を伝え、またコミュニケーションを図る上で、より多くの外国人市民に日本語の学習機会を提供することが必要。 本市における多文化共生の推進を図る事業に対する補助金交付であり、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	当該講座は専門・体系的でありつつ、補助金の交付等により授業料は民間日本語学校に比べ安価に設定されており、外国人市民の需要に込えている。 日本語講座の開催実績があり、本市の日本語教育の推進に寄与する者を対象に事業補助を行うことで、効率化を図っている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	当該事業は専門教育を受けた講師による体系的な日本語教育であり、外国人市民にとって効果的な学習機会を提供できている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	講座を実施する団体及び受講する外国人も講座の経費を負担しており、また、外国人市民の日本語能力が向上することで、市の多文化共生の推進につながるため、受益者負担は適当である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	日本語学習機会の確保及びその水準の維持のために必要な事業であり、継続して実施する。外国人市民の日本語能力向上は多文化共生の推進に大きく寄与するものであり、講座を実施する団体と連携し、当該講座の周知等に取組み、より効果的な事業となるよう努める。